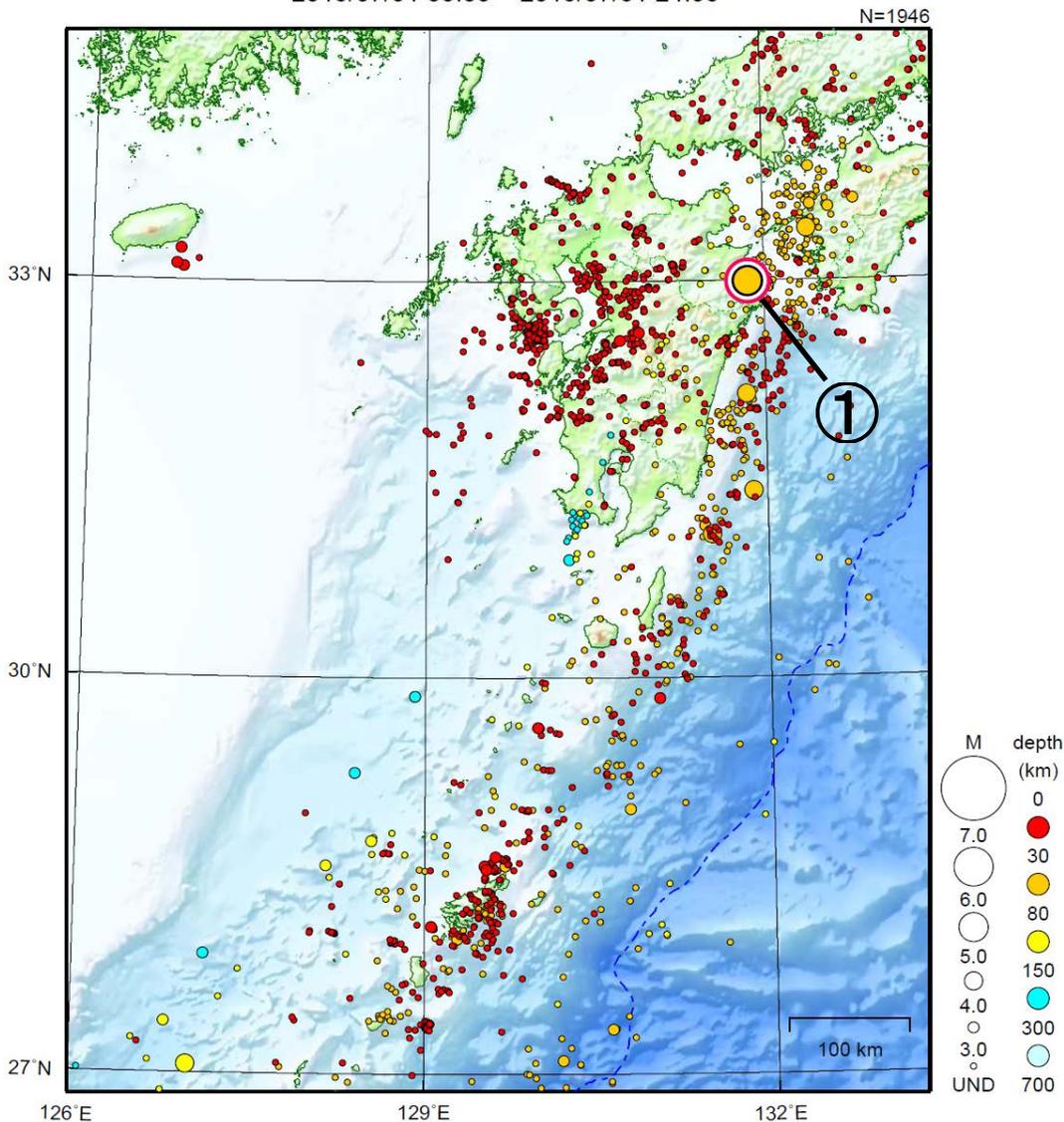


九州地方

2015/07/01 00:00 ~ 2015/07/31 24:00



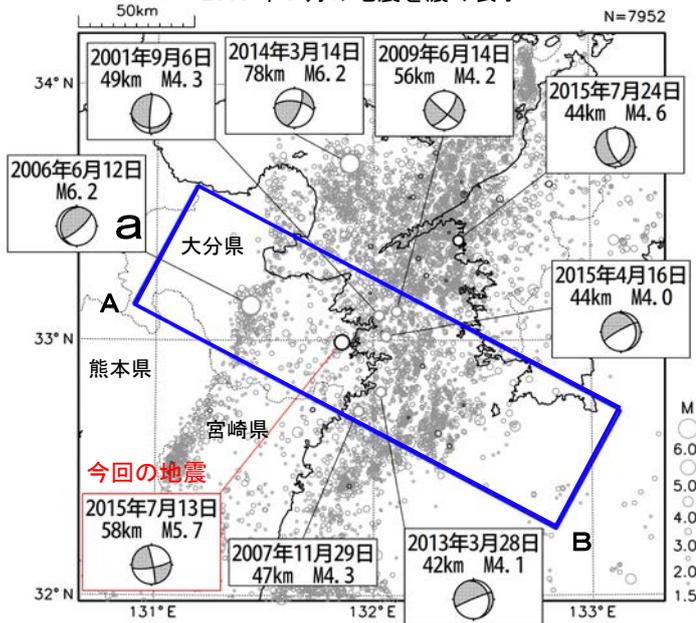
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 7月13日に大分県南部で M5.7 の地震（最大震度5強）が発生した。

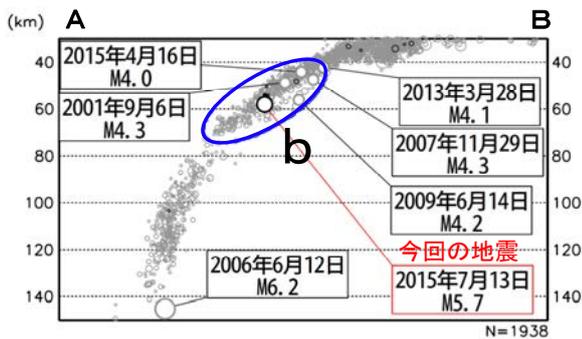
[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

7月13日 大分県南部の地震

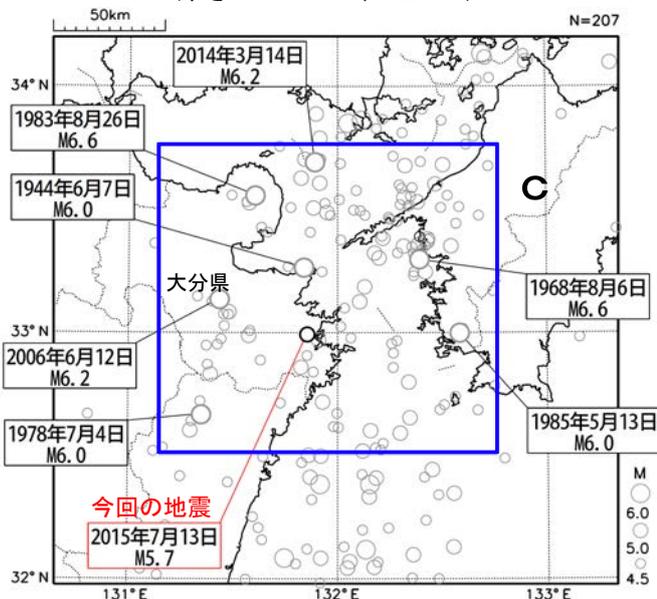
震央分布図
(1997年10月1日～2015年7月31日、
深さ30～150km、 $M \geq 1.5$)
2015年7月の地震を濃く表示



領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図
(1923年1月1日～2015年7月31日、
深さ30～150km、 $M \geq 4.5$)

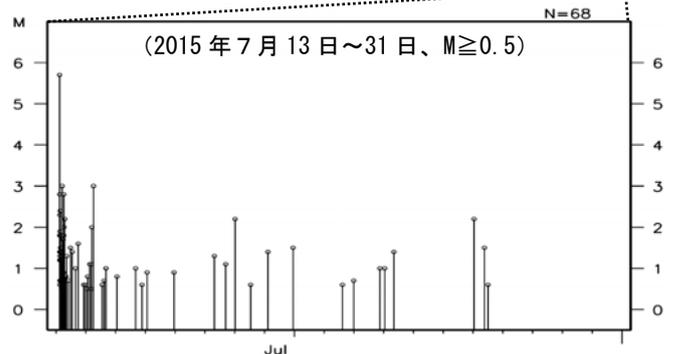
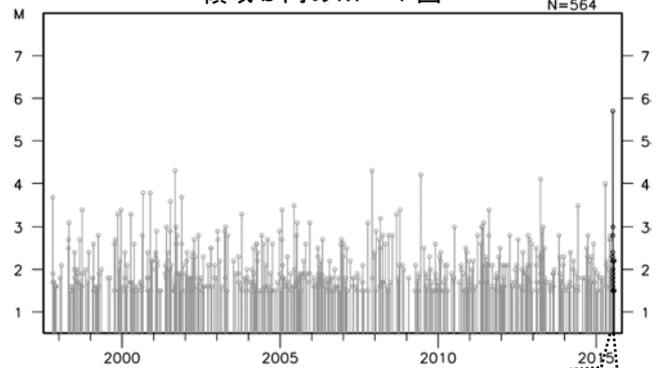


2015年7月13日02時52分に大分県南部の深さ58kmでM5.7の地震 (最大震度5強) が発生した。この地震は、発震機構が北西-南東方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内部で発生した。この地震により、大分県で負傷者3人、住家一部破損3棟などの被害を生じた (総務省消防庁による)。今回の地震の震源付近ではその後も活動が見られるが、余震活動は低調に経過している。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、M4.0以上の地震が時々発生している。

1923年1月以降の活動を見ると今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、M6.0以上の地震が7回発生している。2014年3月14日に発生したM6.2の地震 (最大震度5強) では、負傷者21人、住家一部破損57棟などの被害を生じた。また、2006年6月12日に発生したM6.2の地震 (最大震度5弱) では、負傷者8人、住家一部破損5棟の被害を生じた (被害は総務省消防庁による)。

領域 b 内の M-T 図



領域 c 内の M-T 図

